



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成23年7月26日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会

〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX (0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第25号



第94回氷見市・宝達志水町合同道路愛護デー一会見式



■23年第2回定例会 2

■23年第3回臨時会 3

■一般質問（6名） 4

■委員会ノート 7

■志賀原子力発電所に関する説明会 .. 8

■常任委員会視察報告書 9

■町議会日誌 10

平成23年 第2回

定例会

6月10日～17日



◎予算関係

○一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに39
87万5000円を増額す
るもの。

主な歳入

・地方交付税

1103万9000円

(普通交付税)

・使用料および手数料

△2万5000円

(勤労青少年ホーム使用
料)

・国庫支出金

615万5000円

(社会資本整備総合交付金
など)

・県支出金

280万6000円

(障害者自立支援対策臨時
特例交付金特別対策事業
補助金など)

・町債

1990万円

(観光施設整備事業債、除
雪機械購入事業債)

・主な歳出

・総務費

348万2000円

(コミュニティ施設整備事
業費)

・民生費

250万円

(障害者自立支援給付事
業費)

・労働費

86万7000円

(勤労青少年ホーム管理
費)

・農林水産業費

93万1000円

(中山間地域等直接支払推
進事業費)

・商工費

・国庫支出金

317万3000円

(観光施設等管理費)

・土木費

2300万円

(除雪対策事業費)

・消防費

360万円

(災害対策事務費)

・教育費

232万2000円

◎条例関係

○宝達志水町職員の育児休業
等に関する条例の一部を改
正する条例について

(全員賛成)

○宝達志水町税条例の一部を
改正する条例について

(全員賛成)

○宝達志水町災害弔慰金の支
給等に関する条例の一部を
改正する条例について

(全員賛成)

○宝達志水町健康保険志雄病院事
業会計補正予算(第1号)

資本的支出に196万円
を増額するもの。

(全員賛成)

○図書館管理運営費、岡部
家維持管理事業費など

(全員賛成)

○宝達志水町公共下水道条例
の一部を改正する条例につ
いて

(全員賛成)

○指定管理者の指定

・宝達志水広域勤労青少年
ホーム

・宝達志水町民サッカー場

(全員賛成)



宝達志水町民サッカー場



宝達志水広域勤労青少年ホーム

◎平成22年度補正予算
関係(専決)

○一般会計補正予算(第10号)
(全員賛成)

○国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
(全員賛成)

○後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
(全員賛成)

○介護保険特別会計補正予算(第6号)
(全員賛成)

○ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第4号)
(全員賛成)

◎専決条例

○国民健康保険税条例の一部を改正する条例
(賛成12人、反対1人)

○国民健康保険条例の一部を改正する条例
(全員賛成)

◎報告案件

○平成22年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

○宝達志水町土地開発公社の経営状況

◎人事案件

○子浦川水防事務組合議会議員の選挙



柴田 捷 (新宮)



久保喜六 (子浦)



岡田幹彦 (子浦)



前田與志秀 (二口)

(指名推選)

第3回臨時会 4月28日

◎人事案件

○教育委員会委員の任命について



山岸芙美 (散田)

(全員賛成)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について



角 又喜 (今浜)



中橋 樹 (杉野屋)



島田秀和 (聖川)

(いずれも全員賛成)

◎契約案件

○財産の取得(福祉バスの購入)

(全員賛成)

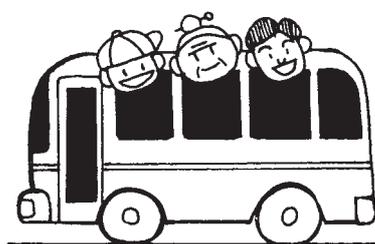
◎平成22年度補正予算
関係(専決)

○一般会計補正予算(第9号)

職員人件費、押水土地改良区総代選挙費
(全員賛成)

金田議員に感謝状を伝達

第3回臨時会の開会に先立ち、石川県町村議会議長会会長ならびに宝達志水町議会議長の退任にあたり、全国町村議会議長会、北信越町村議会議長会、石川県町村議会議長会からの感謝状が金田之治議員に伝達されました。



町政を問う

質問
いっぱん

町内集落の自主防災組織
結成支援について

寶達典久議員



や第三者からの跡地利用の申し出もない。

② 具体的な支援策は決まっていないが、できるだけ早い時期に、区長、民生委員の協力を得て決めたい。

③ 12組織ある。組織が有効に機能し、円滑な避難等を行うにはリーダーが必要で、その育成・充実に努めたい。また未組織の集落に対し、組織結成の道しるべとなるマニュアル等を示し、早期結成に向け取り組んでいきたい。

問

- ① 石川県立大学附属経営農場跡地について。
- ② 災害時要援護者の支援について。
- ③ 町内集落の自主防災組織結成支援について。
- ④ 平成24年度から使用される中学校教科書の採択について。

答町長

① 雑草、病害虫が懸念されることから、県に対し除草などの管理をお願いしたい。有効活用の計画は現在ないし、県

防災対策の取り組みは

土上 猛議員



を重点的に充実すべき地域の範囲」は半径10kmの範囲で、本町は該当してないが、町民の安全・安心の確保が最重要と考えている。

② 公共工事の残土を活用し、道路から直接乗り入れ出来る状態まで埋め立てが進んでいる。施設全体における、行事開催時の駐車状況等を改めて調査し、整備方針を明らかにしたい。

問

- ① 防災対策について。
- ② 樋川小学校裏の多目的駐車場の整備について。

答町長

① 町地域防災計画の見直しは、東日本大震災や福島第一原発事故を受け、データ収集等のスピードを速めたい。具体的な見直し時期は、国の中央防災会議、県防災会議等の審議結果が出てからと考えている。

原発の対応策は、現行の県地域防災計画には、「防災対策



④ 羽咋地区教科用図書採択協議会で採択したものを、本町の教育委員会でも採択すべきと考えている。

答教育長



埋め立てが進む樋川小学校裏の用地

防災ダム、ため池に対する 危機管理、安全管理について

久保喜六議員



終えた。

②毎年、農地防災点検によるため池調査を実施し、安全管理に努めている。県では緊急時の管理体制や連絡体制を規定した「ため池管理体制の整備の手引き」を作成。本町の6カ所のため池も対象となっている。今後、それ

ている。洪水警報等で管理団体が非常警備体制をとった場合、ただちに県や町、警察に通知される。今後も連絡を密にし、安全管理に努めたい。
③志雄運動公園で10月23日の予定。前年度の反省点を踏まえ、煙体験、天ぷら油火災の消火訓練、水害発生を想定した避難訓練等、実践型の訓練を取り入れて実施する方向で消防署、消防団とも協議、検討し進めていきたい。

問

①避難場所の見直しの進捗状況は。

②町内にある防災ダム、ため池に対する危機管理、安全管理について。

③本年度の防災訓練の内容は。

答町長

①町の地域防災計画では、既
に用途廃止した施設も含まれ
ており、避難場所の見直しは
地域住民の方の意見を聴きな
がら進めたい。進捗状況とし
ては、集落の標高調査、農業
用ため池やダムが決壊した際
の被災予想戸数の調査をほぼ

子浦川防災ダムと
新宮ダムでは、管理
者による日々のパト
ロールで安全管理に
努めているほか、今
年度より子浦川防災
ダムは、ライブカメ
ラによる監視を行っ



今年度よりライブカメラによる監視が行われている子浦川防災ダム

問

①土砂災害等自然災害につ
いて。

②水害対策について。

③行財政改革について。

答町長

①土砂災害警戒区域とは、土
砂災害の発生のおそれがあり、
町がハザードマップを作成す
る等の警戒避難体制の整備を
行う区域。土砂災害特別警戒
区域は、その中で、特に建築
物の破損や生命に著しい危害
が生じるおそれのある区域。
本町の警戒区域は18カ所で、
うち15カ所が特別警戒区域。

土砂災害等自然災害に ついて

柴田 捷議員



特別警戒区域の対策として
は、平成19年度より県砂防課
が、随時、現地調査を行って
いる。その成果に基づき、町
が土砂災害ハザードマップを
作成し、町民の方に土砂災害
のおそれのある箇所と避難箇
所を知らせたいと考えている。

②平成20年に中能登土木事務
所と共同で、子浦川のハザー
ドマップを作成。地域防災計
画の見直しにあわせ、優先順
位を検討し、各種ハザードマ
ップの作成に取り組みたい。
防災における情報提供のた
め、今年度、同報系防災行政
無線の整備に向け、基本設計
に着手したい。

③定員適正化計画では、類似
団体並の職員数になるよう目
標を設定。今後は、職員数の
削減を図りつつ、偏った現在
の年齢構成の平準化を踏まえ、
毎年、一定数の採用を行う。

原発問題について

守田幸則議員



問

①窓口業務の充実について。
②原発問題について。

答町長

①住民票や印鑑証明、税に関する諸証明に関し時間外交付サービスを実施しているが、対応できない多岐にわたる内容の業務がある。時間延長や休日の業務実施は、有効な方法と認識しているが、職員の出勤時間、配置など体制整備に大きな課題がある。すぐに取り組むことはできないが、調査し改善に努めたい。独居

老人や老老世帯に対して、町職員が出向いてのサービスは行っていない。
②原発事故のシミュレーションは、町域防災計画では、半径10kmの範囲外なので想定していない。近く見直される県域防災計画を踏まえ、見直しを行いたい。放射能観測施設や器具が無いので、計測したことはない。

平成19年の臨界事故隠し以降、北陸電力から情報は提供されている。



志賀原子力発電所

今後の原子力発電の安全対策には、石川県町長会として、国に対し徹底的な原因究明、安全規制の在り方の見直し、住民への情報提供を迅速に正確かつ分かりやすく公開・伝達するよう体制を見直すことなど、全四項目にわたって万全の対策を講じるよう強く要請していく。

東日本大震災の復興支援と教訓について

小島昌治議員



問

東日本大震災への復興支援と教訓について。

答町長

復興支援の窓口が県庁となっており、県より要請があれば、引き続き、最大限の努力をしていきたい。現在、実施中の町政懇談会で、防災関連の質問や意見が多数出ており、それらを集約し、町域防災計画の見直しに役立たせたい。また、県の原子力防災計画の対象地域にすること。北陸電力の原子力安全協定に基づく

「住民合意」対象地域とすること。志賀原発の再稼働についての表明は、いずれも、県の地域防災計画の見直しにあわせて検討したい。

答総務課長

被災者への各種支援内容を記載したパンフレットを作成。記載内容以外でお困りの方は、総務課と環境安全課が窓口として対応し、関係部署へ引き継ぎを行う。

答環境安全課長

災害時の被害を最小限に抑え、軽減するには、地域や近隣の人が、互いに助け合う事が大切であり、自主防災組織が担う役割は重要。今後未組織地域の組織化に向けての啓発を行っていく。

委員会ノート

第2回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 今浜海浜トイレの外構工事

期間は。

答 1カ月間の予定。出来るだけ早い時期に使用できるようにしたい。

問 舗装工事の入札に際し、除雪作業の協力を条件としているか。

答 そのような条件はない。

問 購入予定の除雪機械は、アステラス横に建設される格納庫に入るのか。

答 その計画です。

問 災害対策の備蓄品等の保管場所は。

答 役場庁舎前車庫、町消防団第2分団車庫、小川の水防倉庫の3カ所。

問 購入する簡易トイレ5基の保管場所は。

答 町消防団第2分団車庫に保管。

問 購入する備蓄用食糧品の積算根拠は。

答 能登半島地震の輪島市を参考に、本町の避難者数を想定し算出。

問 コミュニティ施設事業の今後の対応方針は。

答 8月末までに集落要望を提出してもらい、来年度は当初予算で対応したい。

問 緊急雇用創出事業で減額補正しているが。

答 事業費に占める人件費の割合が決まっており、当初予定していた事業で、全額執行出来なかった。今年度は全額執行出来るよう検討したい。

問 土地開発公社の理事は。

答 町長、議長、総務産業建設常任委員長、参事、財政課長、産業振興課長、地域整備課長、土地開発公社事務局長の8人。

問 世界農業遺産に「能登の里山里海」が登録されたが、

本町が含まれない理由は。

答 能登の丘陵地と邑知潟の生態系を保全するための指定で、本町は生態系が違うので含まれていない。

問 消防ホースの更新、格納ボックス等の集落要望の対応は。

答 順次実施しており、多数の箇所のある集落は、年次計画にて対応。

教育厚生常任委員会

問 国際交流事業費の内容は。

答 日本語の指導者養成。25人の計画で、座学10回、実技5回の講習予定。

問 岡部家の券売機のチケット数は。

答 個人、団体対応で30種類発券できる。

問 岡部家パンフレットの印刷

部数及び配布先は。

答 2000部作成予定。岡部家入場者に配布。

問 文面は外国語対応か。

答 日本語のみ。外国語については、検討したい。

問 太陽光発電施設のある小中学校は。

答 樋川小と志雄小の2校。

問 売電単価及び年間実績は。

答 1kwh当たりの単価は24円。22年度実績で、樋川小が15万9000円。志雄小が7万5000円。



樋川小学校屋上の太陽光発電施設

法律で決まっているのか。

答 東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律に基づいている。

問 勤労青少年ホームの利用者は。

答 主にサッカー関係者のほか、子ども会や地域の団体が利用。

問 不妊治療費助成事業で22年度に実績がないのは、利用しにくいためか。

答 18年度から21年度で10組の利用があった。利用しにくい訳ではない。

問 障害者自立支援給付事業費の訓練等給付費の減額は。

答 自立訓練費、就労移行支援費及び就労継続支援費の実績によるもの。

問 U・Iターン促進奨励金の交付件数は。

答 22年度3件、21年度2件。件数が少ないのは制度内容に問題があるのか。

問 制度的には問題ないが、件数が少なかった。

問 がん検診の受診率は。

答 22年度実績で肺がん21.6%、胃がん20.1%、大腸

問 災害弔慰金の支給に関する条例における援護資金の償還期間や措置期間の年数は

病院運営特別委員会

がん18・5%、子宮がん27
・1%、乳・甲状腺がん
33・5%。

問 検診会場の受付が混雑して
いると聞いたが。

答 会場を増やしたり、現在の
職員2人体制での人員配置
を検討したい。

問 御上使往来で標識がわかり
づらく、道に迷った人がい
たと聞いたが。

答 現場を確認し、迷わないよ
う検討したい。

問 介護保険料の過年度滞納分
の徴収率は。

答 27・7%。

問 東日本大震災の時、天井が
落下する事故があったが、
体育館等の天井は。

答 体育施設、社会教育施設で
7施設あり、押水武道館が
格天井のほか、残りは鉄骨
小・中学校では、樋川、志
雄両小学校以外の体育館は
吊り天井。職員で点検を行
い、出来ないところは今後
検討したい。

問 町にはどのような審議会や
委員会があるか把握してい
るか。

答 調査し整備したい。

問 志雄病院看護師等就学資金
貸与条例の対象者は、志雄
病院に来てくれるのか。

答 年1回、年度末に成績証明
書の提出が必要。その時、
面接を行い話し合うことで、
当病院に勤務する気持ちを
高めてもらう。

問 確実に看護師になれるのか。
答 当然、学校なので落第もあ
るが、基本年数を支援、中
退の場合は全額返還しても
らう。

問 志雄病院から東日本大震災
の被災地に医療チームを派
遣するというのは。

答 宮城県石巻市に、6月12日
から16日の5日間。スタッ
フは外科医師1人、薬剤師
1人、看護師2人、事務職
1人の計5人を派遣する。
問 放射能を被ばくしたら、補
償は。

答 今回の医療チームは、県医
療対策課からの要請による
もの。宮城県ということも
あり、そのような話は聞い
ていない。

北陸電力志賀原子力発電所に関する説明会

さくらドーム21
6月17日



町議会からの要請による「北陸電力志賀原子力発電所に関する説明会」が6月17日、さくらドーム21にて町議会議員及び町職員約40人が参加して開かれました。

福島第一原発事故が及ぼしている、甚大なる被害や不安に対する安全対策、対応策などの情報提供を求め実施したもので、北陸電力側からは黒田雅信原子力本部地域社会部長ら5人が説明に訪れました。

同社による志賀原子力発電所の津波に対する安全強化策の説明のあと、議員から「被ばくした際の医療機関や搬送方法」「事故発生後の対応策」「気象条件や地形を考慮した被害想定区域距離の考え」「想定外の福島第一原発事故をどう把握しているか」「防潮堤の建設」「発電機メーカー」などの、様々な質問、意見、要望が出されました。

説明会の終わりにあたり、北本俊一議長は「出来る限りの対応をして欲しい」と述べ、町議会として、発電所の安全対策や今後の対応策について、現地視察を行うなど引き続き注視していく旨を伝えました。

なお、現地視察は7月14日に実施しました。

常任委員会視察報告書

防災、地域振興について (5/31~6/1)

防災対策の取り組み、オムライスによる地域振興に資することを目的に、総務産業建設常任委員会と教育厚生常任委員会が合同で視察を実施しました。

津波・高潮ステーション〔大阪〕

かつて大阪を襲った高潮や、近い将来必ず大阪を襲うと言われている東南海・南海地震と津波発生時の対応などを学んだ。

大阪の町は海面より低く、繰り返した大きな高潮被害にあった歴史、高潮防災の着実な

歩み、高潮防災施設のはたらかしきはもとより、もつと恐ろしい津波のメカニズム、津波災害から命を守るため、日頃から心がけておきたいこと、災害にあったときの適切な行動を確認することができた。

人と防災未来センター〔神戸〕

阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かすことを通じて、災害文

化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援を図り、安全・安心な市民協働・減災

社会の実現に貢献することをミッションとしている。

東北大震災が発生したこともあり、関西方面への修学旅行生や地元の見学の学生などたくさんの方が訪れてい

た。

施設内では、地震発生時や復興の様子の映像や模型、写真などが展示され恐ろしさやきびしさを感じることができた。

また、防災・減災に関する展示もあり、実践的な知識を習得することができ、今後の当町における取り組みに大いに参考となった。

オムライス発祥

北極星産業(株)〔大阪〕

北橋茂登志社長と懇談

本町の観光と一次産業の両方を活性化していくことを目的に、5月19日に「オムライスの郷プロジェクト実行委員会」が設立され、町議会としても事業支援のため、北極星心斎橋本店を訪問し、協力者である北橋茂登志社長と今後の事業推進について懇談しました。

健康まつりには北橋社長が来町し、オムライスの実演会や講習会が予定されている。

店のオムライスメニューは多種で、期間限定で旬の食材を使ったものがあり、地元の食材を使ったオリジナルメニューを考えれば地産地消の推進となる。

店舗は洋食屋でありながら古民家を改装し畳敷きで座布団の和風スタイルであり、和食店でもオムライスに違和感がなく感じられた。

町内のどの飲食店でも食べらる定番メニューとなれば、観光客の誘致にもつながり、活性化に大きく寄与するものと期待できます。

今回の視察により、安心安全なまちづくり、町の活性化への取り組みに、多くを得ることができた。



北極星・心斎橋本店



町議会誌 4月～6月

〔4月〕

- 5日 小学校・中学校入学式
- 8日 宝達高等学校入学式
- 12日 県町村議会議長会定期総会
- 13日 町民生・児童委員協議会総会
- 14日 広報編集特別委員会議会運営委員会
- 20日 岡部家オーピングセレモニー
- 22日 町体育協会総会
- 23日 宝達山開山祭



宝達山開山祭

- 25日 例月出納検査
- 28日 議会運営委員会

- 町議会全員協議会
- 町議会臨時会

〔5月〕

- 16日 町土地発公社理事会
- 17日～18日

- 町村議会議長・副議長研修会

- 19日 オムライスの郷プロジェクト実行委員会設立

- 22日 町商工会総会

- 23日 郡町議会議長会総会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 議員年金制度研修会

- 26日 能登地区町議会連絡会

- 30日 町議会全員協議会
- 31日～6/1日 常任委員会視察

- 31日 渚会理事會

- 31日 子浦川水防事務組合議

- 31日 常任委員会視察

〔6月〕

- 3日 国道159号事業概要説明、国道159号建設促進期成同盟会総会
- 9日 広域圏議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 町消防団連合訓練大会
- 13日 健康まつり
- 13日 教育厚生常任委員会
- 13日 病院運営特別委員会
- 14日 能登空港利用促進議員連盟理事会、総会
- 15日 総務産業建設常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 町議会定例会再開
- 18日 志賀原子力発電所に関する説明会
- 19日 郡市消防団連合訓練大会
- 19日 千里浜ちびっこ駅伝
- 23日 県町村議会議長会議長協議会

- 24日 例月出納検査
- 決算審査

- 25日 広域圏議会運営委員会
- 25日 男女共同参画のつどい
- 26日 町土砂災害防災訓練
- 28日 県町村議会議長会臨時総会
- 29日 町身体障害者福祉協会
- 30日 宝達高校を支援する会
- 30日 主要地方道押水福岡線改良促進期成同盟会

- 30日 総会

広報編集特別委員会

委員長 津田 勤

副委員長 林 一郎

委員 北 信幸

委員 宮本 満

議会を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。

傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。

問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310

